

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



協和仙人大学 音楽学部の皆さん

活動の成果を発表するため、毎年、「特別養護老人ホーム 峰山荘」「介護老人保健施設 幸寿園」を慰問し、歌や踊りを披露しています。

**平成28年度予算・
だいせんまちづくり
基本条例を可決**

主な内容

CONTENTS

■平成28年第1回定例会概要	2～3
■7人の議員が一般質問	4～7
■特別委員会中間報告	8
■委員会審査のあらまし	10～11
■先進地に学ぶ	12
■市民の声、6月定例会のお知らせ ほか	13
■市政懇談会のお知らせ、編集後記 ほか	14

だいせんまちづくり基本条例を可決

第1回定例会

第1回定例会は、2月25日から3月18日までの23日間の会期で行われました。

本会議1日目に、栗林市長の施政方針演説が行われました。

議会運営委員会提出の条例案1件、市議会会議規則改正案1件、市当局提出の人事案32件、条例案27件、単行案14件、補正予算案14件、当初予算案21件を同意・可決したほか、継続審査していた請願1件を不採択、新たに提出された陳情2件を採択、1件を不採択とし、意見書案2件を原案可決しました。

一般質問は、2日間にわたって7人の議員が、市政全般について市当局に質問をしました。

また、本会議最終日には、公共施設等総合管理計画調査特別委員会（委員長 児玉裕一）から中間報告がありました。



▲本会議 起立採決の様子

※第1回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。

〈市議会トップページ→議会中継（映像アーカイブ）→平成28年第1回定例会 本会議〉

議会運営委員会提出議案

▼大仙市議会議事規則の一部を改正する規則の制定について（全会一致で可決）

標準市議会議事規則が改正され、同会議規則第2条第2項に新たに議員が出産のため、会議に出席できないときの欠席届の規定が整備されたことに伴い、大仙市議会においても会議規則を一部改正しました。

▼大仙市議会議事委員会条例の一部を改正する条例の制定について（全会一致で可決）

行政機構改革に伴い、企画産業常任委員会の所管が改正されました。（農林商工部↓農林部・経済産業部）

人事案

▼副市長の選任について（全会一致で同意）

◇老松博行氏（川目⇨再任）

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（全会一致で同意）

◇小林和子氏（大曲金谷町⇨再推薦）

◇高橋庄孝氏（藤木⇨再推薦）

条例案

▼大仙市消防団員の定員、任免、職務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（全会一致で可決）

消防団の組織機構の再編に合わせ、定数を見直しました。（1691人↓1375人）

▼行政機構の改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（全会一致で可決）

基幹産業である農業への取組強化、商工振興・企業対策などの重要課題に対応するため、農林商工部を廃止し、農林部と経済産業部を設置するもので、4月1日から施行されました。

▼大仙市犯罪被害者等見舞金支給条例の制定について（全会一致で可決）

犯罪行為により、不慮の死を遂げられた方の遺族、または傷害を負った方に対して見舞金を支給し、被害者等の生活の安定と精神的被害の軽減を図ることを目的に制定しました。

▼だいせんまちづくり基本条例の制定について（全会一致で可決）

新市誕生10年の節目を迎え、市民と行政との協働による市民が主役のまちづくりを推進するため、本市の自治基本条例として制定しました。



第1回定例会の概要

単行案

▼第2次大仙市総合計画基本構想の策定について（賛成多数で可決）

現行の大仙市総合計画基本構想の計画期間が終了することに伴い、向こう10年間の展望の下、魅力あるまちづくりを推進するために第2次大仙市総合計画基本構想が策定されました。

補正予算

▼平成27年度大仙市一般会計補正予算（第7号）（賛成多数で可決）

歳入歳出予算の総額に19億492万7千円を追加し、補正後の総額は496億1156万6千円となりました。

主なものは、(株)秋田バイオマスチップが協和地域稲沢地区に建設予定の木質燃料チップ製造工場建設事業に対する貸付金1億円、10路線の生活バスを運行しているバス事業者への補助金5220万1千円、保育施設を運営する社会福祉法人等に対する給付費負担金1億1305万2千円、農地中間管理機構への農地の出し手に対する補助金1億7792万4千円、国の補正予算により創設された「地方創生加速化交付金」を活用し、花火産業構想に基づく各種施策を実施する経費1億1892万3千円などです。

▼平成27年度大仙市一般会計補正予算（第8号）（全会一致で可決）

歳入歳出予算の総額に2323万9千円を追加し、補正後の総額は496億3480万5千円となりました。

平成27年度産大豆の収量及び品質の確定に伴う市単独補助金2323万9千円の補正です。

当初予算

▼平成28年度大仙市一般会計予算（賛成多数で可決）

平成28年度の一般会計当初予算は455億9430万円で、前年度比4億4590万円（1%）の増となりました。市街地再開発事業が終了し、平成27年度当初より予算規模が縮小するものと見込んでおりましたが、低所得者への臨時福祉給付事業の継続や秋田おばこ農業協同組合の「直売所・レストラン・加工所の複合的施設」建設への補助のほか、除雪対策費の当初予算計上により、前年度に比べ予算増となったものです。

また、国民健康保険事業特別会計など18特別会計予算の総額は197億5577万9千円、市立大曲病院事業会計など2企業会計予算の総額は23億6016万円で、これらを合わせた大仙市全体の予算は677億1023万9千円になりました。

【反対討論】

▽佐藤文子 議員（日本共産党）

平成28年度一般会計予算は、国の地方財政計画に従った予算編成であり、地方交付税へのトッパー方式の導入に伴い、各種事業の賃金や業務委託料などが減額計上されている。また、マイナンバー制度に連して、個人番号カード交付事務費や社会保障・税番号制度システム整備費が計上されている。プライバシー漏えいなどの恐れがあるマイナンバー制度の推進予算は認められない。

平成28年度簡易水道事業特別会計や公共下水道事業特別会計など予算案4件には、いずれも地方公営企業法適用移行業務の経費が計上されている。これらの事業の財源は、国の補助金や地方債、一般会計からの繰入金によるところが大きく、公営企業会計である下水道事業会計のように、料金収入で

もってすべてを運営することは将来的にもできない。公営企業会計への一般会計からの繰り入れには制約があり、使用料金の引き上げにつながる。以上のことから、これら予算案に反対するものである。

【賛成討論】

▽石塚 柏 議員（大地の会）

平成26年度一般会計の決算は、市債の発行が61億7300万円、公債費は54億7700万円で、6億9600万円の債務の増加であった。平成27年度一般会計予算では、市債の発行が40億6400万円、公債費が50億7600万円で、債務を1億1200万円減らす予算であった。平成28年度一般会計予算は市債の発行が29億4300万円、公債費が50億8500万円で、21億4200万円の債務を減らす予算案となっている。

歳入規模が縮小する中、平成28年度中に市債の発行を抑制することは厳しい財政運営が予想されるが、期待を込めて本案に賛成する。

平成28年度一般会計・特別会計・企業会計予算 (単位:千円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	45,594,300	1.0%
国民健康保険事業	10,478,761	▲7.2%
後期高齢者医療	866,939	1.6%
土地区画整理事業	815,076	▲30.7%
学校給食事業	1,025,445	▲0.8%
奨学資金	30,809	▲1.5%
簡易水道事業	2,513,105	37.0%
公共下水道事業	1,699,340	▲2.0%
特定環境保全公共下水道事業	791,307	▲1.9%
特定地域生活排水処理事業	24,632	0.4%
農業集落排水事業	1,310,892	▲0.3%
スキ一場事業	69,943	▲1.8%
太陽光発電事業(新規)	121,133	-
財産区(6地区)	8,397	▲79.5%
企業会計		
市立大曲病院事業	997,669	1.0%
上水道事業	1,362,491	27.6%
計	67,710,239	0.4%



大地の会 議員 石塚 柏

Q 総合計画の 財政健全化の取り組みは

A 10年間で600億円まで 市債残高を減らす

質問 10カ年の総合計画が始まるが、財政の健全化の取り組みの内容は。

市長 総合計画の前期5カ年で新規市債の発行残高は、平成33年度末で700億円程度になる見込みである。また、後期総合計画は市債の発行を7割に抑え、平成37年度末には600億円に抑制する。

市職員の定年延長で、職員意欲への影響は

質問 最近、公務員の不祥事が続くが、大仙市職員の不祥事はない。また、財政健全化のために早期退職に協力している。定年に関しては官民の処遇が逆転している。職員の再任用を進めているが、再任用職員と若手職員へのモチベーションに影響はないのか。

市長 定年制の官民の格差は、民間の多くの企業が継続雇用制度を採用している。官民の差異はないと思っている。再任用職員は、全く別の業務に就いたり、上下関係が逆転したりするが、退職前に気持ちを

切り替えることが大切と説明している。再任用制度は若手職員の昇任・昇格に影響せず、また、平成28年度から人事評価制度を実施することから、高いモチベーションで業務に精励するものと思っている。

歴史的記録物の保存は

質問 公文書館は維持費や将来改築もあるので、その存在価値がわかるように保存・展示の企画が必要。また、明治以降の民間の歴史資料の保存はどうか。

市長 公文書館の存在意義を啓発する取り組みでは、シンポジウムや講演会の開催、刊行物やインターネットの発信等に取り組んでいく。古文書解読や小中学校との教育との連携は最も重要と考える。全市的保存は、公文書館が中心となって民間所在の古文書の情報共有を進め、郷土史家やボランティア、解読を進める団体と保存の体制を作ってまいりたい。



日本共産党 議員 藤田 和久

Q 一斉除雪実施に柔軟な対応を

A きめ細やかな 除雪作業を心がける

質問 地域間で除雪状況に差が生じないように、一斉除雪の実施について柔軟な対応を検討すべきでは。

市長 安全確保等のため、日中は出動しないなど、地域により除雪車出動の状況が異なるケースが生じているが、除雪の出動判断支援システムの導入や路線別の除雪水準を明確化するなど必要な見直しを行った。道路・気象状況等を総合的に判断し、きめ細やかな除雪作業を心がけていく。

歩行者用反射材・安全ヘルメットの支給を

質問 子どもや老人向けに、歩行者用反射材を支給できないか。

老松副市長 平成24年度から毎年新入学児童に配付している。高齢者には交通安全会や交通安全母の会などのご協力で、靴に貼る反射材や反射バッグなどを配付している。また、秋の総りフェアや交通安全イベントなどでも、各種反射材を配付している。

質問 小中学校の自転車通学者に安全ヘルメットを支給できないか。 教育長 安全ヘルメットの着用に

介護現場の実態調査を

質問 介護事業所の実態調査が必要と思うが、いかがか。

市長 介護事業経営概況調査を、今年5月に国が実施する予定であり、それらを参考としながら、併せて介護保険事務所からも情報を得て、状況を把握する。

質問 介護現場における虐待の実態を把握する必要があると思うが、いかがか。

市長 本市では犯罪性のある虐待の事例は発生していない。虐待防止には介護職員の研修等が重要であり、積極的な参加をお願いしている。事業所など施設の虐待防止については、これまでの取り組みを継続し、虐待をいち早く発見できる体制を充実させていく。



大地の会
秩父 博樹 議員

Q スマホアプリを活用した
システムの導入を

A 近い機能を持つシステム
構築の研究を進める

質問 社会インフラを長持ちさせるため、早期発見・補修に向けた対策を市民と協働で進めることができる、スマホアプリを活用したシステムの導入を提案する。

久米副市長 市では、統合型GISを用いた道路情報管理システム整備事業を実施しており、スマートフォンシステムに近い機能を持たせることが可能である。市民から情報を手軽に提供していただける仕組みも検討し、システム構築に向けて研究を進めていく。

オリジナルナンバープレートを

質問 「日本一の花火の街、大仙市」をもっとアピールできるように、市のオリジナルナンバープレートを創ってはどうか。

市長 花火を題材としたオリジナルナンバープレートの作成は、市民意識や知名度の向上、観光振興、まちおこしなどの手段の一つとして有効と思われるので、花火産業構想の一環として取り組んでいく。

ふるさと納税の有効活用は

質問 当市では、全国各地に見られるような高額返礼品ではなく、「寄付していただいた方への感謝の気持ちとしてお礼の品を送付する」ことを重視しているが、地元企業や商店の活性化、地元ブランドの創出や観光振興の手段の一つとして、このふるさと納税制度を有効活用すべきと考えるが。

市長 返礼品の充実を図ることは、ふるさと納税制度の一つの活用方法であり、自治体の特産品のPR・観光振興に有用であるとともに、地元経済の活性化に資するものとして、広く市民に捉えられるようになっていくことから、当市としても看過できない状況である。

今後、返礼品については、市をPRする一つのツールと捉え、物産開発や観光推進に結びつく制度を構築していきたい。これまでの手法とのバランスが取れた「大仙スタイル」の手法について年内を目標に検討する。

※このほか、財政の「見える化」公会計制度の改革について質問しました。



大地の会
金谷 道男 議員

Q 市民の健康増進策として
健幸ポイント制度を導入しては

A 先進自治体の取り組みや
効果を参考に研究したい

質問 市民みんなの願いである健康長寿に欠かせない運動やスポーツに、より多くの参加を促すため、健康づくり実行に応じてポイントを付与し、貯まると、地域商品券や公共施設の利用券、全国で使えるポイントとの交換等ができる健幸ポイント制度の試行が始まっている。市民は健康と実利恩恵が得られ、健康度向上で医療費や介護費の抑制につながり、国保会計や介護保険会計改善が期待できるこの制度を導入したらどううか。

市長 健幸ポイント制度は、内閣府の地域活性化総合特区で、平成26年から国と6市及び筑波大学等の研究機関で共同プロジェクトとして実施されている。健幸ポイント制度は、健康長寿のための運動参加率向上のための手法として興味深い。実施自治体の取り組みや効果等も参考に、導入を研究したい。

市長 「だいせんライフ」は、本市が豊かな自然や風土、文化に恵まれ、子育て環境や教育に優位性を持ち、花火産業構想に代表される新たな産業振興に取り組む、住み良く元気なまちであり、そのことを市民と意識共有されている生活スタイルを示す概念である。

質問 推進体制はどのようになっているか。

市長 新年度から企画部まちづくり課に「だいせんライフ促進班」を設置し、移住定住に関する窓口を一本化し、首都圏ふるさと会や県と連携し、より密度の高い情報の発信と収集に努める。

※このほか、総合型地域スポーツクラブの在り方について質問しました。

「だいせんライフ」とは

質問 移住定住戦略と思われる「だいせんライフ」とはどんなイメージなのか。



▲市民が参加した
全県一斉ウォーキング



大地の会
富岡 喜芳 議員

Q TPP大筋合意による 大仙市への影響は

A TPP発効の影響は さまざまな分野に及ぶ

質問 TPP発効による国・県での経済効果分析が示され、農林水産物への減少額が発表された。大仙市ではどの程度の減少額が生じるのか。

市長 国の試算方法を準用した県の試算結果では、県全体での影響は14億2千万円となっている。市の農産物への試算では、影響が大きいとされる米・畜産部門について、牛肉5300万円、8・8%、豚肉7700万円、5%、牛乳・乳製品500万円、1・9%がそれぞれ減少し、米に関しては国・県と同様に生産額の減少はないという結果である。

コメへの影響「ゼロ」を どう受け止めているか

質問 国では、備蓄米を毎年33万t、飼料用米や主食用米以外に販売し、TPPで輸入される流通量を抑える対策を講じることで、価格面への影響を「ゼロ」と見ている。県も市も同様の試算だが、流入する外国産米が国産米より安いに決まっている。国産米価格の下落に直結し、備蓄米も大量に出回ること、生産調

整の見直しに伴い進めてきた飼料用米の増産に逆行する。市ではコメへの影響「ゼロ」をどう受け止めているか。

市長 生産現場からの疑問の声はあるが、市独自の算定基準を持ち合わせていないことから、国・県と同様の結果となっている。安価な輸入米の増加による米価全体の下落や、国産米の需要減少、農業者の生産意欲の低下が懸念される。

国・県の所得支援策は

質問 米の直接支払交付金等の大幅増額で農業所得保障の確保と安定につなげ、大仙市農業を死守・維持していくのが、TPP対策への最高の対応ではないか。

市長 国は平成30年産から、米の直接支払交付金を廃止することとしており、この決定に従わざるを得ない。国の動向を注視し、国の施策で有効活用ができるものは最大限に活用し、国・県の対策で不十分な部分は、市独自の施策で補完する。



日本共産党
佐藤 文子 議員

Q 労働条件確保に効果を発揮する 公契約条例の制定を

A 条例制定に向け、 進めてまいりたい

質問 公契約適正化の取り組み等で、公共工事関係労働者の賃金は上昇したのか。

市長 4年ごとに実施する中小企業賃金実態調査で平成23年度と平成27年度を比較すると、建設業では減少している一方、製造業では増加している。業種全体では、平成23年度平均年齢42歳で21万6024円に対し、平成27年度平均年齢45・9歳で20万5677円と減少している。

質問 公共工事などの公契約において、地域全体の雇用・賃金・労働条件の確保などに大きな効果を発揮している公契約条例を、大仙市でも制定に向け検討しては。

市長 賃金が下がっているとなれば、何らかの対策を取る必要があると考えている。公契約条例は公共工事だけの問題ではなく、市が発注する業務委託など全体的な課題と捉えており、今後、条例を制定しながら、秋田市の現状を参考にしながら、条例制定に向けて進めてまいりたい。

ひとり暮らし高齢者に新しい視点を

質問 「ひとり暮らし高齢者」の生活圏調査と支援に新しい視点として、家屋・土地の「これから」に関する意向や要望、実態調査をし、見えてくる課題に対して行政ができる支援体制の確立を検討する必要があるのでは。

老松副市長 高齢化社会の到来によりたくさんの方が表面化してきており、「ひとり暮らし高齢者」の家屋や土地の管理・処分などもその一つである。

今後、「ひとり暮らし高齢者」がますます増加することを考えると、いわゆる「放置空き家」の増加は予測でき、行政としても予防策が必要と考える。比較的元気で自己選択が可能ならうちに管理・処分等について考えることの必要性の啓発、ケアマネジメント過程での働きかけなどさまざまな取り組みが考えられる。行政が個人の財産の管理や処分に直接介入は難しいが、相談につながるなどの仕組みを作ることとは可能と思うので、今後具体的に検討する。

ここがききたい！一般質問



大地の会
本間 輝男 議員

Q 主要転作物目「大豆」助成の
必要性を問う

A 国・県助成を判断し、
市の補填も検討

質問 全市で1000ha以上作付されている大豆は、国の水田活用

好評を得た。今後も支援を継続していくのか。

直接支払交付金を活用した収益性の高い作物として注目され、作付面積が増加している。さらに太田地域200ha、大曲地域110ha、協和地域83ha、中仙地域102ha、仙北地域41haなど、全市で549haが団地加算対象にある。平成28年度の団地加算交付金の流れと交付額を伺う。

市長 大豆に力強く支援する姿勢に変わりはないが、国の交付金の範囲を原則とする。しかし当初見込みが異なる場合には、市の一般財源からの助成も検討していく。

市長 平成28年度から国の運用の見直しにより、当初8割、評価決定2割の配分となる。配分額が昨年度と同水準と仮定すると、4ha以上で10aあたり8千円、8ha以上で1万6千円、12ha以上で2万4千円程度の交付予想である。

「大曲保育会」「大空大仙」の現状と方向性は

質問 交付金に対する国・県の対応と今後の方向性を、どう捉えるか。

質問 両法人への市補助金と積立金の整合性をどう捉えるか。

市長 生産調整が変化する平成30年産を見据えて、水田利活用を促進させる国の強い意向が反映されたものと捉えている。今後も重点作目「大豆」を推進していく。

市長 保育サービスの向上と経営安定のために支援しているが、総合的に勘案して対応していきたい。積立金は両法人に存在するが、将来の施設の建て替えや修繕等に備えているものと認識している。

質問 両法人の統合を視野に入れた将来的な方向をどう捉えているか。

市長 公益性の高い法人であり、給料格差は正や人的交流など、法人の意向を伺いながら検討していきたい。

質問 昨年、大規模団地の増加に伴い市で単独助成し、生産農家より

議会のうごき

平成 28 年 1 月～3 月

- 〔1月〕
- 13日 第1回公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 18日 企画産業常任委員会「所管事務調査」
- 19日 建設水道常任委員会協議会・同委員会「所管事務調査」
- 20日 議会改革推進会議「行政視察」(～21日)
- 22日 会派代表者会議・議会運営委員会
- 26日 第2回公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 29日 第1回臨時議会・会派代表者会議・議員説明会
- 〔2月〕
- 1日 総務民生常任委員会「所管事務調査」
- 3日 新議会・市民クラブ「会派合同行政視察」(～5日)
- 8日 議員説明会・会派代表者会議
- 9日 広報広聴常任委員会「行政視察」(～10日)
- 10日 「地方創生」を学ぶ研修会(横手市議会主催)
- 12日 議員全員協議会(当初予算説明会)・議員説明会
- 15日 企画産業常任委員会協議会
- 17日 第3回公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 18日 議会運営委員会
- 22日 第4回公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 25日 第1回定例会(第1日)・議員全員協議会
- 〔3月〕
- 4日 第5回公共施設等総合管理計画調査特別委員会
- 7日 第1回定例会(第2日)・議会運営委員会・広報広聴常任委員会
- 8日 第1回定例会(第3日)・会派代表者会議
- 9日 総務民生常任委員会審査
- 10日 企画産業・教育福祉・建設水道常任委員会審査
- 10日 教育福祉常任委員会「所管事務調査」
- 11日 総務民生・企画産業・教育福祉常任委員会審査
- 14日 企画産業常任委員会協議会・議会改革推進会議
- 16日 公共施設等総合管理計画調査特別委員会協議会・議会運営委員会
- 18日 第1回定例会(第4日)・議会運営委員会・議員全員協議会
- 23日 広報広聴常任委員会
- 25日 大地の会「行政視察」(～25日)
- 26日 新議会・市民クラブ「会派合同行政視察」(～26日)

公共施設等総合管理計画調査特別委員会の中間報告

公共施設等総合管理計画調査特別委員会（委員長 児玉裕一）は第1回市議会定例会で、次のとおり中間報告を行いました。

第1. 公共施設等総合管理計画策定に向けた事項について

- ①国が示した公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針では、地方自治体において、厳しい財政状況、人口減少により公共施設等の利用需要が変化することを踏まえ、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、公共施設等の最適な配置を実現することが必要とされている。この計画の策定にあたって、財政的将来展望に立ち、市民の負担を考慮すると、現段階における新たな施設の設置や更新の実施については、慎重に取り組みたい。
- ②今後、既存の公共施設については、さらなる有効活用の観点から、複合的に利用することを考慮するとともに、市民ニーズの把握に務め、思い切った見直しを図りたい。
- ③公共施設等総合管理計画の策定にあたる市職員については、将来の財政難に対する危機感を持って、この作業に取り組んでいただきたい。

第2. グループ毎の提言

【庁舎】 庁舎については、旧町村における7つの庁舎の現地調査を行ったほか、市当局より各庁舎の空きスペース及び庁舎における執務スペースの調査について報告をいただいた。その結果、それぞれの庁舎によって、執務スペースにバラツキが見られ、また、有効利用できるスペースのあることが、見受けられた。委員会としては、支所機能は今後も不可欠なものであり、各支所庁舎については、空きスペースを最大限に有効利用できるよう、総合計画におけるハード事業の計画について、一考を要することを提言するものである。

【消防施設】 消防施設は、平成28年度からの大仙市消防団の再編に伴い、消防格納庫や詰所の削減が計画されている。これらの施設の再配置については、設置されている土地が借地の場合、将来において問題が生じないように、地権者と協議し、出来る限り市有地とするよう提言するものである。

【墓園等施設】 墓地については、高齢化や核家族化により将来、管理料を徴収できない事案が発生する可能性が大いにあるため、後々は市で管理することになる。永代使用料や管理料で管理が賄える方策を考えていただくことを提言するものである。

【廃棄物処理施設】 一般廃棄物最終処分場廃止事業計画に基づき、事業費の節減に努めていただくことを提言するものである。

【公民館】 地域の生涯学習の場を提供する公民館は、従来から広い範囲で整備されてきているが、老朽化が進んでいる施設もあるため、更新計画も立てられている。将来的に人口減少社会を迎えるにあたっては、様々な施設や学校の余裕スペースなどを利用し、公民館事業や市民へのサービスが減少しないよう、地域と協議しながら施設整備計画を作成していただきたい。また、地域における集会施設等との関わりもあるため、今後も特別委員会で慎重審議していく。

第3. その他の指摘、要望事項

これまでの所管課等のご協力をいただいた実態調査を踏まえて、これから計画実行される公共施設の建設にあたって、以下の提言をするものである。

- ①建物の新築・改築にあたっては、基本設計の内容・成果が具体的に議会に示されない事例が見られる。実施設計発注前に、議会に対して、基本設計の成果を十分に説明すべきである。
- ②新規ハード事業、特に建築物の進め方については、議会基本条例第9条に規定する、政策等の形成過程の議会に対する説明に、統一性が取れていない感がある。市の実施計画に搭載されていることはもちろんであるが、構想の段階から議会への情報提供を遅滞なく行い、適切な協議、意見交換がなされるようお願いしたい。



▲2月17日・22日、各支所庁舎をはじめ、市内の各施設を現地調査しました。

平成28年第1回定例会 議決結果

Main table with columns for 番号, 件名, 議決結果. It lists various municipal resolutions and their outcomes, such as '原案可決' (Original Motion Carried) or '不採択' (Not Adopted).

第1回定例会賛否一覧

※議案等について、賛成、反対の双方があった場合のみ、表示しています。

Vote record table with columns for 会派・議員名, 議決結果, and individual members' votes (represented by circles). It details the voting patterns for specific bills across different political groups like 大地の会 and 新公会.

議案賛成者は○とし、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

上程された議案は関係各委員会に付託され、審査が行われました。主な質疑は次のとおりです。

総務民生常任委員会

条例案10件、単行案1件、補正予算案4件、当初予算案10件、陳情1件を審査しました。

公文書館の使用年数は

【問】公文書館は、現在の旧双葉小学校を使用していくことになるが、施設の状態からも、この先、何十年続けられるのか。

【答】建物の耐用年数と収蔵能力を考えた場合、おおよそ30年以上は使用できると考えている。



▲公文書館が設置される旧双葉小学校

固定資産税率引き下げを

【問】水田の基盤整備率が高く、転作等で大豆や枝豆が作られている。水田としてよりも畑として使っている現状から、固定資産税率を畑地並みに引き下げできないか。

【答】基盤整備は水田の区画拡大等の整備を行い、ほ場整備されたものであり、固定資産評価基準からも水田となり、畑地として評価できない。

消防本部の

床面積増の理由は

【問】広域消防本部の改築は、現在の建物床面積の約2.5倍となっているが。

【答】はしご車・大型化学車・救急工作車等、車両の大型化に加え、消防車両が昭和57年には12台、現在は17台。消防職員も59人で発足したが、現在は84人の25人増となっている。執務環境を整える上で仮眠室も個室化を図り、訓練棟も含め、建物床面積4500㎡が予定されている。

墓園整備の発注は

【問】大曲墓園の整地、区画の工事、墓石を一括といった競争入札を検討しているが、整地、区画の工事と上物となる墓石の工事を分けて発注できないか。

【答】28年度は48区画の墓石、石付の規制区画を検討していたが、上物の墓石については自由に選んでいた。ただ、予算の範囲内で検討したい。

高校生の医療費無料化を

【問】中学生の医療費無料化に向け、平成27年8月診療分より実施してきたが、今後は高校3年生まで医療費無料化を検討していただきたい。

【答】大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案にも掲げているが、財政状況を踏まえ、中学生までの医療費無料化を確実に継続していきたい。

企画産業常任委員会

条例案8件、単行案4件、補正予算案2件、当初予算案1件、請願1件、陳情2

件を審査しました。

住民投票の検討は

【問】だいせんまちづくり条例の中に「住民投票について、別に定める条例によって実施する」とあるが、検討はされているか。

【答】必要に応じて、事案ごとに条例を定めて実施していきたい。

営業時間の拡大を

【問】新幹線利用者も観光情報センターを利用できるよう、新幹線発着時刻に合わせた営業をすべきでは。

【答】現在は午前9時から午後6時までの営業だが、時差出勤等により利用時間の拡大を検討したい。

迎え入れる体制は

【問】国際花火シンポジウムもあることから、海外から来るお客さんへの対応として、無線を利用してインターネットに接続できる「WiFi（ワイファイ）」環境の整備や案内看板の設置も必要ではないか。

【答】WiFiの整備については、宿泊施設を対象に

実施をしたいと考えている。また、案内看板については、国際花火シンポジウム関連の予算で対応してまいりたい。

十分なスペースはあるか
【問】秋の爽りフェアの会場を大曲ヒカリオに移動することだが、十分なスペースを確保できるか。

【答】大曲ヒカリオ周辺のにぎわいを創出するために移動するもので、花火通り商店街での軽トラ市など周辺施設等も活用してスペースを確保したい。

プレミアム分全額補助を

【問】がんばる商店等支援事業の商品券発行支援について、これはすべて消費者に還元されることから、プレミアム分全額の補助はできないか。

【答】昨年はニコニコ商品券の反響があり、単年度に限り要綱を改正し全額補助としたものであるが、今後検討したい。

教育福祉常任委員会

条例案4件、単行案1件、補正予算案3件、当初予算案5件を審査しました。

家族の負担の軽減は

【問】今後、団塊世代の高齢化が進む中で、在宅介護する家族の負担を軽減する措置が必要と思うが、支援策等考えているか。

【答】従来、家族に対して「月5千円の介護慰労金支給事業」「介護用品支給事業」「ストレス軽減目的の家族介護者交流事業」を行っているが、28年度から新たに「在宅医療・介護連携推進事業」「生活支援体制整備事業」「認知症地域支援・ケア向上事業」の3つの事業を行っている。

ねんりんピック

2017の参加者は

【問】各競技の参加人数は。
【答】将棋約220名・グラウンドゴルフ約430名であるが、各県の多くの大会関係者や応援団の来場を見込んでいる。

待機児童の解消を

【問】横堀小学校の余裕教室を活用しての児童クラブ新設は画期的である。今後もこのような取り組みを推進してほしい。

【答】市と教育委員会で余裕教室の提供について基本協定を締結し、今回は教育委員会と仙北支所の協力で、横堀小学校から広いスペースの提供を受けた。現在、八乙女児童クラブで待機児童が発生しており、豊川小学校・豊岡小学校の余裕教室の利用に向け、教育委員会や中仙支所と連携して取り組んでいる。

特定健診の会場は

【問】特定健診の受診率が伸び悩んでいるように感じる。健診会場は何力所か。また、1会場何人の受診者を見込んでいるのか。

【答】西部地域13カ所、中央12カ所、東部9カ所である。受診会場では特定健診のほか、後期高齢者検診も行っており、合わせて1日1会場100

人以上を目標としている。

川のまち歴史交流館

整備事業の予算は【問】予算額の内訳は。また、今後の予算規模は。

【答】土地取得費3400万円、解体整備費1600万円、調査費100万円となっている。29年度8500万円、30年度5700万円、31年度4千万円、その後800万円、1000万円と計画している。

全国500歳野球

プレ大会の参加チームは

【問】参加予定12チームの選定基準は。

【答】県内4・県外8チームを見込んでいる。1県1チームにこだわらず、12チーム以上を目指したい。



建設水道常任委員会

条例案5件、単行案8件、補正予算案8件、当初予算案8件を審査しました。

浄化槽設置補助金の

【問】合併処理浄化槽の設置について、市内業者が施工した場合と市外業者の施工した場合の工事費に差があり、市内業者の方が高いかとの市民の声があるが。

【答】浄化槽の補助金は、基準額として国・県・市で3分の1ずつ補助金を交付しており、さらに市内業者が施工であれば、市の基準額と同額の補助金を嵩上げして交付している。補助申請の内容については単価等を十分に検討し、高額となっていないかチェックしており、今後も丁寧な審査に努める。

市民の間に

差が生じないか

【問】住宅リフォーム支援の補助金は、平成28年度から交付決定額が当初予算に到達次第、申請を打ち切りにするとしている。今後も打

ち切りを続けていくとすれば、補助を受けた市民と受けない市民との間に差が生じてくるのでは。

【答】例年12月あたりで申請が大体終了するが、万が一、予算が満額に到達した後に申請があった場合は次年度の4月まで待っていたら、次年度に申請された際には優先的に受理することを検討している。

水道料金はどのようになる

【問】市民から、簡易水道の会計が企業会計になると赤字になり、水道料金を値上げするのではとの声があるが。

【答】簡易水道の料金については段階的に引き上げている。平成28年度に第3回目の改定があり、平成31年度の中間・仙北地域の改定で最終である。料金が高額にならないよう一定のところを抑えながら、利用者から負担いただきたいというのが改定の方針である。企業会計移行と進行中の料金改定は分けて考えており、現段階では現在の改定方針どおりの料金とする。

広報広聴常任委員会

◆議会報告会の開催状況を学ぶ

2月9日・10日の2日間の日程で長野県長野市・上田市を訪問し、「議会報告会」の状況について調査しました。

長野市の人口は約38万人ですが、議会報告会への参加者は、70名から100名とのことです。長野市議会の議会報告会は現在曲がり角にきており、「今何が論点になっているのか明確にする」「テーマ別、事業別の報告会が必要ではないか」など、議会報告会のやり方を考える時期にきているとのことでした。



▲長野市での研修の様子

上田市議会の議会報告会は平成23年度から始まり、

約400名の市民が参加しておりますが、平成27年度からはこれまでのやり方を改め、思い切つて、テーマ別の車座集会に切り替えたとのことです。テーマは「防災」「ゴミの減量化」「大河ドラマを生かした産業の活性化」「認知症対策」で、「大河ドラマを生かした産業の活性化」には若い人たちの参加が多く、「認知症対策」には女性の参加が多かったとのことでした。マスコミの反応も含め、参加住民の反応は非常に良かったとの説明がありました。

大仙市議会の議会報告会の開催にあたっては、テーマを設けるなど、議会報告会のやり方に工夫が必要であると感じた今回の調査でした。

(委員長 石塚 柏 記)



▲上田市の議会報告会を学ぶ

議会改革推進会議

◆議会改革の実施状況を研修



▲横須賀市の議会改革を学ぶ

1月20日・21日の2日間、神奈川県横須賀市、鎌倉市を視察しました。

横須賀市議会では、議会制度検討会について説明を受けました。議会の改革・改善すべき点について議員・市役所各分野にアンケートを取って項目ごとに分け、至急やらないといけない案件は議会運営委員会で検討、長期的な案件は議会制度検討会で検討と役割分担されており、議会制度検討会は議会運営委員会に比べて柔軟に開催でき、頻繁にそして深く審査できるとのことでした。また、議員が提出した議案に対して市民の声を聞く「パブリックコメント」が実施されておりました。今後の課題としては通年議会の導入、議会定数見直しがあるとのことです。

鎌倉市議会では、議員提案政策条例について説明を受けました。議員提案の「自転車安全利用促進条例」を制定にこぎ着けるまでの説明を受け、今後は市民とのテーブルを囲んだ議会報告会・情報交換会等で、新しいテーマを見いだしていきたい、また、専門的知見者のアドバイス・講話等を受けながら、活性化に結びつけていきたいとのことでした。今後は両市議会の改革を参考に、我が議会改革推進会議でも検討していきたいと思われました。

(委員長 小山 緑郎 記)



▲鎌倉市での研修の様子

第1回臨時議会

第1回臨時議会が1月29日に招集され、専決処分報告1件、条例案3件、単行案3件、補正予算案11件が上程され、承認・可決されました。主な内容は次のとおりです。

▼大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について(全会一致で可決)

人事院勧告を受けた国の一般職の給与改定に倣い、平成27年度及び平成28年度的一般職の給与が改定されました。

▼平成27年度大仙市一般会計補正予算(第6号)(全会一致で可決)

人事院勧告による給与改定や人事異動等に伴う一般職員の人件費9012万2千円、国の補正予算成立に伴い実施される臨時福祉給付金事業に係る平成27年度分の事務費802万2千円などで、補正後の予算総額は477億663万9千円となりました。

私の住んでいる地域も間違いなく過疎化が確実に進み、ここ10年間で12世帯・82人の減少と、まさに限界集落である。

歯止め策として、こんなことはどうだろう。18歳から選挙権を与えられるのを機に、若者の考えている故郷とは？ 大々的なディスカッションの場を設ける、懸賞方式で提言を募ってみる、発信力のある国際教養大生の力を借りる、というのも一策だろう。斬新なヒントが得られるのではないだろうか。

また、当地域にはインターチェンジがある。物流の拠点はもちろんだが、このインターチェンジを

もっと有効に活用した政策の実行に積極的に取り組むべきだと思う。

地元の埋もれた歴史の掘り起こしや、原風景を観光資源として活用した交流人口の拡大を「路の窓口」として、近隣市町村とタイアップしながら進めることが大事だろう。

願わくは、大仙市に生まれ、育って良かったと言われる街を子々孫々に残していくためにも「おおきなせなかに」を見て子どもたちが育つように、議員各位の英知の結集をこいねがい、期待するものである。
(大曲地域 70代男性)

皆さまの傍聴を
お待ちしております



用語の解説

「懲罰」

懲罰とは、議員が地方自治法及び会議規則並びに委員会条例に反し、議会の秩序を乱した場合、議会がその規律と品位を保持するために行う措置をいいます。

懲罰の対象となるのは、現在議員として在任している者のみとなります。そして懲罰の対象となるには、現に議員であるというだけではなく、当該議員の議会の秩序を乱した言動が、原則として本会議または委員会における議会の活動の一環としての言動であることが必要です。

そのため、議員が議会外のプライベートな場で行った言動については、本会議または委員会における開会中の言動ではないので、懲罰の対象とすることはできません。

先進地に学ぶ（会派行政視察）

◆大地の会

平成28年3月23日～25日

- 山口県周南市
(水素利活用の取り組みについて)
- 島根県邑南町
(日本一の子育て村構想について)

◆新政会・市民クラブ

平成28年2月3日～5日

- 茨城県稲敷市
(人口減少対策について)
- 茨城県つくば市「株みずほ」
(みずほの運営等について)

平成28年3月25日～26日

- 新潟県三条市
(業務の繁閑に応じた併任辞令の取り組みについて)
- 新潟県新潟市「アグリパーク」
(アグリパークの概要について)

◆だいせんの会

平成28年2月3日～5日

- 沖縄県那覇市
(陸上自衛隊那覇駐屯地視察)
- 沖縄県名護市
(名護市議会議員との意見交換)

6月定例会日程のお知らせ

- 5月30日(月) 本会議第1日(市政報告・議案上程等)
- 6月9日(木) 本会議第2日(一般質問)
- 10日(金) 本会議第3日(一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 13日(月)・14日(火) 常任委員会審査
- 20日(月) 本会議第4日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費（1月1日～3月31日）

		件数	金額
予算額			900,000円
既支出額		74件	635,538円
今回支出額		21件	135,560円
内訳	弔慰	0件	0円
	慶祝	17件	113,000円
	協賛	4件	22,560円
予算残額			128,902円

大仙市議会 市政懇談会を開催

市議会では、市政の諸課題に柔軟に対応するため、市政全般にわたって、市民と自由に意見を交換する、市政懇談会を、次の日程で開催します。

市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

「より開かれた議会を目指し」

6月27日(月)～7月1日(金)

開催日	場 所	時 間
6月27日(月)	南外コミュニティセンター(南外字下袋218)	午前10時～
	はびねす大仙(幸町2-70)	午後7時～
6月28日(火)	内小友公民館(内小友字仙北屋68-2)	午前10時～
	角間川公民館(角間川町字四上町1)	午後1時30分～
6月29日(水)	神岡福祉センター(神宮寺字蓬沼17)	午前10時～
	中仙農村環境改善センター(北長野字茶畑141)	午後1時30分～
6月30日(木)	西仙北支所(刈和野字本町5)	午前10時～
	協和支所(協和境字野田4)	午後1時30分～
7月1日(金)	太田文化プラザ(太田町太田字新田尻3-4)	午前10時～
	仙北支所(高梨字田茂木10)	午後1時30分～



広く市民の皆様のご意見をお聞かせください。

【お問い合わせ先】

議会事務局

TEL 63-1111(内線303)

※夜も開催します。(6/27 はびねす大仙) 大曲地域以外の方もご参加ください。
日程については変更になる場合があります。変更についてはチラシ等でお知らせします。

大仙市の名勝巡り (西仙北地域)

真田丸とのつながりも・・・「旧亀田街道」

旧亀田街道は、由利本荘市松ヶ崎から亀田(由利本荘市岩城亀田)を経て大仙市刈和野へと通じる街道で、亀田藩主が参勤交代のときに使用したことから「殿様道」とも呼ばれました。現在は約1.3km程が当時の面影を残しており、毎年8月に「亀田街道まつり」と称して大名行列が歩を進めます。緑深い杉並木を行列が進むその様子は趣にあふれます。

表題のワケは、実は亀田藩主・岩城宣隆の正室「顕性院殿(お田の方)」は、現在NHK大河ドラマで放映されている「真田丸」の主人公である真田幸村の五女なのです。

えにし
真田幸村と縁につながる亀田街道…
ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

(大山利吉 記)

▶旧亀田街道の現在の様子



▲毎年8月下旬に行われる「亀田街道まつり」



編集後記

新しい年度を迎え、それぞれ新たな気持ちでスタートされたことと思います。

今冬は降雪も少なく、例年ニュース等で痛ましい雪下ろし作業中の事故も少なく、市民生活にとってはありがたいことだったと思います。

今、全国各市で議会改革が検討され「市民に開かれた議会」活動する議会を目指し、その実行に努力されております。選挙権年齢も18歳から改正され、さらに若者から関心をいただけるよう努めていかなければと思っております。

主役である市民のためにわかりやすく、身近に感じられる議会報を目指してさらに努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(副委員長 小山緑郎 記)

広報広聴常任委員会

委員長 石塚 柏
副委員長 小山緑郎
委員 秩父博樹
佐藤育男
佐藤文字
橋村 誠
高橋幸晴
小松栄治
渡邊秀俊
大山利吉